

## 南房総館山沖ノ島の海辺を 「守り」「伝える」ための仕組みづくりによる 環境保全・再生の普及啓発活動と実践活動

〒294-0034  
千葉県館山市沼979番地  
電話:0470-24-7088  
E-mail:info@umikan.jp  
http://umikan.jp/



ひろげる助成

2年目

実践



9月種選別会の記念撮影(背景は沖ノ島)

アマモ場再生活動への延べ参加人数 **約365人**

アマモ場再生活動での苗の育苗数 **約4,000本**

今年度計画の達成度 **75%**

活動の全体目標に対する達成度 **60%**

### 苦労した点と工夫した点

#### ■ 苦労した点

「仕組み」のためのさまざまな調整(行政を含む)が難航、時間が掛かっている。目標を見失わないように粘り強く合意形成をほかりたい。

#### ■ 工夫した点

館山の花枝採集予定地のアマモが減少してしまい、急遽鋸南町での採集活動を実施。臨機応変な対応が出来たことで成果につながった。



#### 課題

自然豊かな沖ノ島では、特に夏季の来訪者によるマナーやゴミ問題、一方台風などによるアマモ場の減少、「環境保全・再生」と「活用」の「仕組み作り」が課題となっている。

#### 目標

沖ノ島の自然資源を次世代に継承するため、自然環境の保全と活用の両立を「仕組み」により持続可能な形で実現する。また、沖ノ島の「大切さ」を地域内外で共有する。

#### 活動内容と成果

●仕組みづくり:官民連携の「沖ノ島について考える検討会議」を、年6回開催し「仕組みづくり」を行っている。今期は沖ノ島環境保全協力金の徴収を館山市と協力し試行した。●実践活動:アマモ場再生計画を実行し、6月に花枝

採集、9月に種選別、11月種まき育苗を関連団体と連携し水槽にて開始し、約4000本を育苗している。●普及啓発活動:環境啓発のためのリーフレットを継続活用した。夏季には沖ノ島ビジターセンターを継続設置し、利便性の向上を図り来訪者が増加。またアマモ場再生見学体験を12回開催し啓発活動に努めた。



普及啓発活動スノーケリング体験の様子

#### 今後の展望

「アマモ場再生活動」は、再生サイクルを確立できる見込みで、地域内外に広がり成果を上げてきている。継続した「普及啓発活動」を行い沖ノ島の課題解決のための「仕組みづくり」に繋げ環境保全と活用の両立を図る。